

「成熟をめざして」

ヘブル書 6章1～2節

ですから、私たちは

キリストについての初步の教えを後にして
成熟を目指して進もうではありませんか。

死んだ行いからの回心、神に対する信仰

きよめの洗いについての教えと手を置く儀式
死者の復活と永遠のさばきなど

基礎的なことを

もう一度やり直したりしないように
しましょう。

前回のポイント

靈的に未熟な症状

- I. 神のことばに対して、鈍い（怠惰である）
- II. 神のことばを、分かち合うことができない
- III. 靈的な幼子に、とどまっている
- IV. 善と悪の識別が、むずかしい

ですから、私たちは

キリストについての**初步の教え**を後にして

成熟を目指して進もうではありませんか。

死んだ行いからの回心、神に対する信仰

きよめの洗いについての教えと手を置く儀式

死者の復活と永遠のさばきなど

基礎的なことを

もう一度やり直したりしないように

しましょう。

初歩の教え



建物の

土台石

基礎的なこと

もう一度やり直したりしないように

据える



基礎工事を
する

基礎を据える

6つの基礎・土台

1. 死んだ行いからの回心
2. 神に対する信仰
3. きよめの洗い
4. 手を置く儀式
5. 死者の復活
6. 永遠のさばき

I. 死んだ行いからの回心

I. 死んだ行いからの回心

不確かな悔い改め

繰り返される空しい悔い改め

Ⅱ. 神に対する信仰

Ⅱ. 神に対する信仰

真の信仰告白

真の悔い改め

真の方向転換

ピリポは口を開き、この聖句から始めてイエスのことを彼に宣べ伝えた。

道を進んで行くうちに

水のある所に来たので、宦官は言った。

「ご覧なさい。水があります。

私がバプテスマを受けるのに

何かさしつかえがあるでしょうか。」

そこで、ピリポは言った。

「もしあなたが

心底から信じるならばよいのです。」

すると、彼は答えて言った。

「私は、イエス・キリストが

神の御子であると信じます。」

そして馬車を止めさせ

ピリポも宦官も水の中へ降りて行き

ピリポは宦官に、バプテスマを授けた。

水から上がって来たとき

主の霊がピリポを連れ去られたので

宦官はそれから後

彼を見なかったが

喜びながら、帰って行った。

使徒 8章 35〜39節

イエスは、ちようどそこに来られて
上を見上げて彼に言われた。

「ザアカイ。急いで降りて来なさい。きようは
あなたの家に泊まることにしてあるから。」

ザアカイは、急いで降りて来て

そして大喜びでイエスを迎えた。

これを見て、みなは

「あの方は罪人のところに行って

客となられた。」と、言っつづやいた。

ところがザアカイは立って、主に言った。

「主よ。ご覧ください。」

私の財産の半分を貧しい人たちに施します。
また、だれからでも、私がだまし取った物は
四倍にして返します。」

イエスは、彼に言われた。

「**きょう、救いがこの家に来ました。**」

この人もアブラハムの子なのですから。

人の子は、失われた人を捜して

救うために来たのです。」

ルカ―9章5―10節

Ⅲ. きよめの洗い についての教え

Ⅲ. きよめの洗い についての教え

水のバプテスマ

あなたがたは知らないのですか。

キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた
私たちはみな、その死にあずかる

バプテスマを受けたのではありませんか。

私たちは、キリストの死にあずかる

バプテスマによって、キリストとともに
葬られたのです。

それは、ちょうどキリストが御父の栄光に
よって死者の中からよみがえられたように
私たちも、新しいいのちに歩むためです。

私たちがキリストの死と同じようになって
キリストと一つになっているなら

キリストの復活とも

同じようになるからです。

IV. 手を置く儀式

A. 罪を転嫁(てんか)する方法(しるし)



アロンは生きている雄やぎの頭に両手を置き、
それの上で、イスラエルの子らのすべての咎と
すべての背き、すなわちすべての罪を告白する。
これらをその雄やぎの頭の上にのせ
係りの者の手でこれを荒野に追いやる。
雄やぎは、彼らのすべての咎を負って
不毛の地へ行く。
その人は、雄やぎを荒野に追いやる。

まことに、彼は私たちの病を負い

私たちの痛みを担った。

それなのに、私たちは思った。

神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。

しかし、彼は私たちの背きのために刺され
私たちのとがのために砕かれたのだ。

彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、
その打ち傷のゆえに、私たちはいやされた。

私たちはみな、羊のようにさまよい
それぞれ自分勝手な道に向かって行った。

しかし、主は

私たちすべての者のとがを、彼に負わせた。

A. 罪を転嫁する方法(しるし)

B. 祝福を与える方法(しるし)

そのとき

イエスに手を置いて祈っていたただくために
子どもたちがみもとに連れて来られた。

すると弟子たちは

連れて来た人たちを叱った。

しかし、イエスは言われた。

「子どもたちを来させなさい。

わたしのところに来るのを

邪魔してはいけません。

天の御国は

このような者たちのものなのです。」

そして、**手を子どもたちの上に置いてから**
そこを去って行かれた。

A. 罪を転嫁する方法(しるし)

B. 祝福を与える方法(しるし)

C. 任職・任命の方法(しるし)

そこで、兄弟たち。

あなたがたの中から、御霊と知恵に満ちた、評判の良い人たちを七人選びなさい。

その人たちにこの務めを任せることにして
私たちは

祈りと、みことばの奉仕に専念します。」

この提案を一同はみな喜んで受け入れた。
そして彼らは、信仰と聖霊に満ちた人
ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、
ティモン、パルメナ、そしてアンティオキアの
改宗者ニコラオを選び

この人たちを使徒たちの前に立たせた。

使徒たちは祈って、彼らの上に手を置いた。

さて、アンティオキアには

そこにある教会に、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどの預言者や教師がいた。

彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が

「さあ、わたしのためにバルナバとサウロを聖別して、わたしが召した働きにつかせなさい」と、言われた。

そこで彼らは断食して祈り

二人の上に手を置いてから送り出した。

使徒 13章 1〜3節

ですから、私たちは

キリストについての初步の教えを後にして

成熟を目指して進もうではありませんか。

死んだ行いからの回心、神に対する信仰

きよめの洗いについての教えと手を置く儀式

死者の復活と永遠のさばきなど

基礎的なことを

もう一度やり直したりしないように

しましょう。